

全日程コースのインターバル実習では、ご自身で選定した実践事例をもとに、基幹相談支援センター等においてアセスメントに関するスーパービジョンを受けていただきます。作成した課題をもとに集合研修で演習を実施しますので、以下の選定基準を踏まえたうえで、ご自身で実習協力者を探していただきますようお願いいたします。課題詳細、作成方法、実習先等については、演習2日目に説明します。

※課題作成、実習協力者の手配ができることを受講条件とします。

【事例選定の条件】

- ①実際に自分自身が現在進行形で関わっている又は関わったことがある事例
- ②ケアマネジメント技法を用いた支援に適する事例
 - ・原則、在宅訪問が可能な地域生活(在宅生活)支援、入所、入院から地域移行支援に関する事例
 - ・実習期間内にゴール設定ができるか、あるいはすでにできている事例
 - ・地域の複数の社会資源を活用している(したい)事例
 - ・1つ以上の障害福祉サービスを利用している(したい)事例
- ③自らが何らかの課題意識でアセスメントを(再)検討してみたい、アセスメントについて他者の意見を聞いてみたい事例

【選定できない事例】

- ①入所・入院に向けた支援、入所・入院の継続支援に関する事例
- ②緊急性の高い事例、危機介入の必要な事例、虐待が疑われる事例
- ③本研修期間中に関係性の構築が困難な事例、研修期間中に会うことが困難な事例
- ④現在、本人のゴールがない、本研修の期間中に定まりがたいと想定される事例